

1. 市民との
情報共有の推進2. 市民と市職員の
対話の推進3. 市民と多様な主体が
対話する機会の充実

フォーラム意見

フォーラム会議における主な発言

- ・対話の取組について：市民と職員がお互いに学び合って成長，対話の先にある信頼関係の構築
- ・市民同士の学び合いの場づくり：学び合うコミュニティ，地域同士の情報交流・繋がり
- ・市民参加意識の格差の問題：市政参加と無縁の方の声，アウトリーチ等

市の取組状況について調査（H30）

- ・ポータルサイト，SNS，アプリ等による情報発信
…市民の声の調査，事例共有⇒「より市民の目に留まる効果的な発信に向けた取組」が必要
- ・オープンデータの推進
…掲載数も重要⇒「市民が分析・加工しやすい形で公表されているかという質」が重要
- ・非公開の会議の公開状況
…議論の要旨を公開すべき附属機関等の精査⇒「より一層の公開に向けた取組」が必要

市政総合アンケート

問12【市政情報を得る媒体】

- ・「1. 市民しんぶん」：66.4%，1番目
- ・「5. 市バス・地下鉄のポスター等の掲示物」：32.0%，2番目
- ・「7. 自治会・町内会の会合やニュース」：26.4%，3番目
- ・「6. ラジオ・テレビ」，「11. 口コミ情報，SNS」：5.0%未満で少ない

問13【「対話」の取組について市が力を入れるべきこと】

- ・「5. 積極的にPRし，開催場所等の分かりやすい発信」：36.6%，1番目
- ・「1. 学ぶことができる機会を増やす」：36.1%，2番目
- ・「2. 多様な市民が交流し，話し合える機会を増やす」：33.3%，3番目
- ・「7. よく分からない」：24.3%

庁内の取組

「A 市政情報を発信する取組」

- ・83件（H28）→96件（R1）⇒+13件（①+12件，②～⑦ ほぼ増減なし）
- ・「①ホームページ，SNS，アプリによる市政情報を発信する取組」：66件（R1）
- ・「③民間メディアとの連携・活用により市政情報を発信する取組」
「⑥オープンデータを推進する取組」等：各数件（R1）

[新規取組／特徴的な取組等]

- ①（総合企画局，令和元年度～）学生向けアプリの開発・活用
（南区役所，平成30年度～）南区情報ステーション「みなみなみオンライン」

「B 市民意見を聴く取組」

- ・50件（H28）→66件（R1）⇒+16件（①+8件，②+7件，③+1件）
- ・「①市民との対話により，市政への意見を聴く取組」：37件（R1）
- ・「②市民意見を聴くアンケート，調査等」：23件（R1）

「E 市民同士の協働を支援する取組」

- ・54件（H28）→55件（R1）⇒+1件（①+2件，②-1件）
- ・「①多様な主体の協働を創出・支援する取組」：48件（R1）
- ・「②市民が主体的に対話の場をつくる際に支援する取組」：7件（R1）

市民の市政への参加の推進

4. 自分ごと、みんなごと
と感じられる情報提供

5. 市政への参加の
仕組みのUD化

6. 若者世代の
市政への参加

7. 市政運営への
参加機会の提供

8. 手ごたえにつながる
参加結果の公表

9. 市民と市の
協働範囲の拡充

10. 市民と取り組む
協働型事業の充実

フォーラム意見

フォーラム会議における主な発言

- ・若者へのアプローチ：投票率の低さ、若者と市政との接点 ⇒ 京都市政学などの学生に伝える場づくり、学生の中にある京都市政への「格差を無くす」
- ・受益者の市政参加：みんながステークホルダー（受益者が、次は与える側になるサイクル）、サービスを受けている人の可視化・見える化によるサービス提供側のやりがい向上

市の取組状況について調査（H30）

- ・傍聴可能な会議等での市政参加の仕組みのUD化 … 託児、要約筆記、手話通訳の数が非常に少ない ⇒ 「会議の傍聴者募集等のお知らせの際にその旨明示すること」が重要
- ・市政情報の発信における、誰もが読みやすい工夫 … 「UD化100%に向けた取組」が必要、「やさしい日本語」の活用など、更なる情報発信の工夫が必要
- ・市政参加の認知度と意識について … 若者への伝え方：①授業等での周知、②顔の見える関係性構築 ⇒ 「若者に期待することや、魅力を広く伝えること」が重要
- ・SNSでの情報発信について … 若者はSNSから市政情報をあまり取得していない ⇒ 「SNSの投稿を若者に任せる」等の若者との共創が重要
- ・大学との連携について … 市政参加情報の周知は、大学との連携が効果的 ⇒ 授業などで連携し、気が付けば市政参加していたという仕組みがよい
- ・若者が政治や行政のことを安心して話せる場について … 市政参加に心理的ハードルを感じる若者は多い ⇒ 「①参加のきっかけになる場づくり、②参加した際の雰囲気づくり」が重要
- ・パブリックコメントについて … 内容量が多く、意見を出す部分が分かりにくい ⇒ 「若者に関係するパブコメについて説明し、意見を貰う場づくり」等も必要
- ・市民意見を募集・聴取した際のその反映状況等の公表 … 「統一された分かり易い公表方法」でパブコメ改善、「市政への意見を聞くワークショップやアンケートの結果」は公表すべき

市政総合アンケート

問1【市政参加制度の認知度】

- ・「1. 市が実施する各種のアンケート調査」：13.0%、〈参加したことがある〉1番
- ・「2. 提案、アイデア、名称・愛称等の募集」：31.7%、〈あることは知っている〉1番
- ・「6. 審議会等の公募委員への応募」：79.1%、〈知らない〉1番

問2【市政参加した理由】

- ・「1. テーマに興味関心があったから」：38.8%、1番目
- ・「3. 公共のため、みんなのためになると思ったから」：34.1%、2番目
- ・「4. 友人や知人に誘われたから」：8.8%、少ない

問3【今後の市政参加への意欲】

- （市政参加したことがない方（全体の87%）の内）
- ・参加したい方（「1. ぜひ」＋「2. 可能であれば」）：41.2%（2.4%＋38.8%）
 - ・「3. あまり参加したいと思わない」：43.6%、1番目

問4【市政参加したくない理由】

- ・「1. 参加する時間がないから」：42.2%、1番目
- ・「8. 参加しても市政に反映される実感がわからない」：32.4%、2番目
- ・「6. 精神的、肉体的に負担がかかるから」：24.6%、3番目

問5【市政に対する市民の関わり方】

- ・「1. 直接、意見や考えを提案したり、協働する」：30.0%、1番目
- ・「3. 町内会や自治会の役員等を通じて意見を反映」：25.9%、2番目
- ・「6. よくわからない」：24.4%、3番目

問6【市政参加を促すために市がすべきこと】

- ・「1. 市政に関する情報をわかりやすく発信する」：56.7%、1番目
- ・「10. SNSなどを活用した、意見や提案の機会充実」：32.6%、2番目
- ・参加しやすい時間帯 ⇒ 「休日午前（38.2%）」、「休日午後（36.9%）」

庁内の取組

「C 市政参加の裾野を広げる取組」

- ・65件（H28）⇒ 83件（R1）⇒ +18件（①+16件、②～⑦ ほぼ増減なし）
- ・「①会議、イベント、説明会等におけるユニバーサルデザイン化の取組」：36件（R1）
- ・「③子ども・若者に対する市政情報の積極的な広報」：14件（R1）

【新規取組／特徴的な取組等】

- ①（保健福祉局、平成30年度～）はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン
- ③（上下水道局、平成28年度～）子ども向けPRプログラム「わくわくすいどうひろば」
- ④（子ども若者はぐくみ局、平成28年度～）附属機関等委員への青少年の登用促進
- ⑤（教育委員会事務局、平成28年度～）中学校を中心とした政治的教養を育む教育実践モデル事業
- ⑦（上京区役所、平成29年度～）”みんなごとで進めよう”空き家プロジェクト・セカンドステージ

「D 市民と協働した取組」

- ・119件（H28）⇒ 144件（R1）⇒ +25件（①+4件、②+21件）
- ・「①個人で市政協力してもらう取組」：52件（R1）
- ・「②市民・団体・事業者・大学等と協働した取組」：92件（R1）

【新規取組／特徴的な取組等】

- ①（総合企画局、平成28年度～）「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣（醍醐支所、令和元年度～）だいが文化活動応援隊
- ②（北区役所、平成28年度～）北区コミュニティラジオFM放送局の開局（下京区役所、令和元年度～）下京みらい数珠つなぎプロジェクト（深草支所、平成30年度～）伏見稲荷大社周辺の住みよいまちづくり

市民のまちづくり活動の活性化

11. 自分ごと、みんなごととなる情報発信

12. 気軽に参加できる機会づくり

13. 企業啓発や社会環境づくり

14. 資源をコーディネートする機能の充実

15. 地域コミュニティ活性化取組の充実

16. 社会全体で支える仕組の充実

17. ソーシャルイノベーション活性化

18. フューチャーセンター多様な主体の協働

19. 活動を支える「伴走型支援」

フォーラム意見

フォーラム会議における主な発言

- ・多様な主体のまちづくりへの参加 : 自治会活動の限界, NPO法人以外の非営利団体の増加 ⇒ 企業の人, (住人ではない)暮らしてる人を巻き込む, 非営利セクターの広がり
- ・市民同士の学び合いの場づくり : 市民と行政の対話の次, 繋がりのある団体・地域以外への広がり ⇒ 市民同士が学び合える環境をサポート, 地域同士の情報交流・繋がりをつくる

京都市のまちづくり活動に関する現状分析 (H29)

- ・まちづくり活動の裾野を広げる広報支援 … 社会や地域をよりよくしたい想いを持つ人を増やす ⇒ 「市主催のイベント等の参加者を増やす広報」, 「情報を届けたい相手に市が中継ぎ」
- ・まちづくり活動の裾野を広げる情報発信 … 想いを持つ人が活動主体になることを促す ⇒ 「市職員が様々な場所に向向き, 活動事例や支援策等の情報を直接発信」
- ・まちづくり活動に役立つ情報の整理と発信 … 「情報の網羅的な整理」, 「発信媒体の工夫: 10~20代にはインターネットでの情報発信やロコミ等, 全世代には市民しんぶんやチラシ等」
- ・まちづくり活動を進める柔軟な補助金 … 「活動目的に応じた使途・費目使用の柔軟な判断」, 「スタートアップ支援に加えて, 活動の継続・発展を支援する補助金」
- ・補助金の支援と市との関係性づくり … 「補助金の利用申請時に, 活動団体と行政との接点を深める」, 「活動団体の状況を把握し, 必要に応じたサポート体制を整備」
- ・継続的なまちづくり活動を促すための支援 … 「団体の種類や置かれている課題状況(「資金不足」, 「仲間集め」, 「組織やチームの運営」等)に応じた支援」が必要
- ・多種多様な交流会の開催 … 交流会の不足を感じている人が相当数いる ⇒ 「求めるものは様々, ニーズを把握し広い視点で企画を行い, より多様な交流会を開催」
- ・自治会や町内会等とその他団体との連携 … 外部団体との協働の必要性を感じている方が多数 ⇒ 「自治会や町内会の方が参加しやすい交流会の開催, 行政の中継ぎ」が重要
- ・日常の協働のコーディネート … 「京都市による協働のコーディネーターとしての役割」が重要, 「地域やまちづくり活動等に詳しい市民や団体の把握」も重要

市政総合アンケート

問7【まちづくり活動の参加経験】

- ・「3. 自治会・町内会等の活動」 : 44.2%, 1番目 (最も重点的に取り組んでいる活動でも1番目, 32.3%)
- ・「1. 近所の清掃や, 個人参加ボランティアなど」 : 21.8%, 2番目
- ・「13. 参加したことがない」 : 41.6%

問8【まちづくり活動における利用施設】

- ・「2. 区役所・支所」 : 46.7%, 1番目
- ・「13. 地域の集会所, 公民館, 自治会館等」 : 37.5%, 2番目
- ・「11. 小学校・中学校」 : 33.9%, 3番目
- ・「16. 民間のレンタルスペース等」 : 1.5% (5%未満の利用率の施設も多い)

問9【市のまちづくり支援制度の認知度】

- ・全制度において, 参加・利用者の割合が低い : 9%未満
- ・「5. 地域活動支援制度」参加・利用, 又は知っている : 40.8%, 1番目
- ・「2. まちづくりカフェ等交流事業」参加・利用, 又は知っている : 36.5%, 3番目

問10【まちづくり活動に参加しなかった理由】

- ・「1. 参加のきっかけ, 方法がわからない, わかりにくい」 : 47.1%, 1番目
- ・「2. 参加する時間がない, 合わない」 : 42.1%, 2番目
- ・「8. 内容が難しいから」 : 8.2%, 少ない

問11【まちづくり活動の活性化のために市がすべきこと】

- ・「1. 活動に役立つ情報の提供を推進する」 : 49.1%, 1番目
- ・「5. 活動への理解や参加を促すための広報を推進する」 : 31.0%, 2番目
- ・「2. 組織運営に関する相談事業を推進する」 : 6.5%, 少ない

庁内の取組

「F まちづくり活動を支援する取組」

- ・76件(H28)→82件(R1)⇒+6件(②+4件, ①③~⑦ ほぼ増減なし)
- ・「④まちづくり活動に対する資金や物品を支援する取組」 : 30件(R1)
- ・「②まちづくり活動の広報を支援する取組」 : 19件(R1)
- ・「①まちづくり活動に必要な情報を発信する取組」 : 10件(R1)

「G まちづくり活動を行いやすい社会環境づくりに関する取組」

- ・6件(H28)→6件(R1)⇒±0件(①±0件, ②-1件, ③+1件)
- ・「②「真のワーク・ライフ・バランス」の取組への支援や表彰を行う取組」 : 3件(R1)
- ・「③この他, 社会環境づくりに関する特徴的な取組」 : 3件(R1)

「H 地域コミュニティの活性化に関する取組」

- ・23件(H28)→26件(R1)⇒+3件(①②増減なし, ③+3件)
- ・「③この他, 地域コミュニティの活性化に関する特徴的な取組」 : 22件(R1)
- ・「②自治会・町内会などの地域の住民組織への加入促進の取組」 : 3件(R1)
- ・「①新たな地域自治組織の在り方を検討する取組」 : 1件(R1)

「I ソーシャルイノベーションの活性化に関する取組」

- ・4件(H28)→2件(R1)⇒-2件(②-1件, ③-1件)
- ・「①ビジネスの手法で社会課題に取り組む企業への各種サポート」 : 1件(R1)
- ・「②社会起業家を育成する塾などの講座」 : 1件(R1)